

事業所名		多機能型事業所みのり				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		定員の増減にもスペースを配慮している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		こどもの状態に合わせて、その都度、配置を変更し、配慮している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		常に整理、整頓を心がけ、その日のプログラムを前もって伝え、安心して過ごせるように配慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		支援前後に清掃、片付けをし、療育中に数回の換気を行なっている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		一人になりたいこどもがいたら、別室に移るか仕切りを用い、スペースを確保している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		個々の目標を職員で共有、普段から一人一人の情報を互いに交換、会議で振り返り、個々の課題を話し合っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		評価表の意見などを取り入れ、会議で改善策を全員で話し合っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		どうしたらいいかの話し合いの機会をもち、実際の療育の場を改善できるよう努めている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	外部評価を得ようと予定を立てるが、インフルエンザなどの流行などで実現できていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		研修に参加した職員より、内容を聞き、情報を共有できるようにしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		職員会議で話し合いの上、児童発達支援管理官が作成、ホームページに公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		職員会議で話し合いの上、児童発達支援管理官が分析、計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員同士で個々の子供の状況を情報共有した上で児童発達支援管理官が適切に分析、計画を作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間での共有のもと、改善を重ね、計画に沿った支援に努めている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		インフォーマルなアセスメントであるが、職員間での情報共有により偏りがないように気をつけ確認するようにしている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		職員全員でのサービスラインを確認しての話し合いをした上で、児童発達支援管理官が支援内容を設定するようにしている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		その日の活動のリーダーを中心に立案を立てている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		常に会議にて全員で案を出して、固定化しないように注意している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		打ち合わせの時間を持つようになっているが、早出、遅出のなどのため、無理な場合は必ず、LINEなどで打ち合わせようになっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		打ち合わせの時間を持つようになっているが、早出、遅出のなどのため、無理な場合は必ず、LINEなどで打ち合わせようになっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		保護者あての連絡帳の記録、毎日の日誌の記録をとり、支援の検証・改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児童発達支援管理官がモニタリングを行い、それを元に会議にて見直しを行なっている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		サービスガイドを把握し、話し合いして支援を行なうように努めている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動やおやつ時間に自分で選ぶなどの場を設け、自己決定の経験が出来るように支援している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援会議では、その子供に関わっている方に来るだけ参加していただけるように各自の都合のいい日を設定している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定期的に連絡、情報交換をすようになっている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		基本的には保護者から情報を得ようとしているが、担任とは常に情報交換し、学校のホームページも確認するようになっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		園や他事業所へ連絡し、情報共有するようになっている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			まだ設立して短いため、移行支援経験が少ないが、その場合は情報共有が出来るようにきちんとしていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			今は連携の前歴がないが、その機会をもっていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		児童館利用のこどもが在籍しているため、少し交流がある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		施設代表が定期的に参加している	
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時を利用し、保護者との情報交換に努めている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者参加の予定などたてるが、実現がなかなか難しい。情報を読みやすい資料にして配る等、対策をたてていきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、詳しく説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個人面談時に行なっている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個人面談時に行なっている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者からの要望があれば、その都度対応している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			感染予防のため、多人数での集まりを自粛しているため、何かいい方法がないかとの模索をしている
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合は、すぐに対応し、施設代表に報告。情報を共有したほうがいいときは、書類またはLINEなどでご周知いただく		

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		LINEでのお知らせ、ホームページで公表している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の書類等は鍵のかかる引き出しに保管し、持ち出す際は、管理者が出すなど留意している	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもの障害についての情報を職員で共有し、保護者への対応に気をつけ、配慮している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			感染予防のため、自粛中。施設代表が地域の行事や会議に参加、障害のある子供の理解をいただいている
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		定期的の避難訓練を行い、その際に周知いただけるよう、お知らせするようにしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を元に定期的に避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		保護者からの情報を職員全員で共有、把握している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの情報を職員全員で共有、把握している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全には職員全員で留意、配慮しながら支援につとめている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全に留意して、子どもたちに配慮、その時の子どもの様子を伝え、安全確保に家族に分かっていただくように努めている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの状況があったときはすぐに職員全員に伝え、再度ないように対策を考える	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に数回、虐待防止委員会として勉強する機会をもっている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			職員各自が自分の行動が虐待にならないかのを話し合っている。ただ具体的に身体拘束はどのようにとかの話し合いしていきたい